『教科担当者』に相談しよう！

自由研究を進めるのに力強いサポーターとなってくれるのが教科担当者です。気軽に相談しに、教科 ST に行ってみよう。教科担当者は、専門的な知識を持ち合わせているだけではなく、みんな大学で専門の研究をした「研究」の経験者なのです。みんなの自由研究の取り組みにアドバイスをくれるはずです。一度でダメなら何度でも相談しに行こう。きっと、今年の取り組みのヒントが見つかります。

「テーマを考えたら」相談しよう！

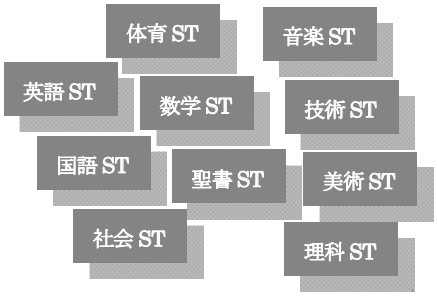
テーマを考えたら、相談しに行こう。
本当にこのテーマでできるかな？担当者にアドバイスをもらおう。

※　なお教科や担当教員によって相談の必要の無い場合があります。
　　教科担当者に確認しよう。

「テーマに迷ったら」

「多面体を作りたいんだけど・・・」
「国語がすきなんだけど・・・」

テーマに迷ったら、相談しに行こう。



相談

テーマ相談のポイント！

以下のようなことを考えていくとアドバイスをもらいやすくなります。
自分にぴったりなテーマを選べるように考えて出かけよう。

１．大まかな分野や方向性

教科を選んだら、大まかな分野を選択しておこう。そうすると、その分野での自由研究の取り組みのヒントがもらえるかもしれません。

２．気になっていること

「自由研究のすすめ」を読んで、話を聞いて、普段の生活の中で気になっているテーマがあれば聞いてみよう。

※図書メディアセンターでも相談できます。

テーマが決まったら登録　⇒　PC 登録へ

自由研究をはじめる前に

〇研究の方針・内容を考えよう

テーマからどんな内容にしたいかをできるだけ具体的に、いくつかの案を考えよう。

〇基礎資料

本などテーマに沿った資料を読んでみよう。図書メディアセンターや担当教員から紹介してもらうのもいいでしょう。資料が複数あるとレポートの幅が広がります。

〇情報収集の方法

そのテーマならではの情報収集の方法を考えよう。聞き取り、取材、見学、体験などのフィールドワークなどを取り入れよう。

〇表現の方法

レポートにまとめて提出しよう。レポートにしたらポスターなどの大きい用紙などに、クイズ形式、マンガ風に解説、小学生にもわかるように説明など工夫したものを作ってみよう。